

	進取の気概 (校長室だより)	有田市立箕島中学校 自主 友愛 剛健	R3・11・9
			No. 43

右はみなさんも知っている 金子みすゞ さんの「私と小鳥と鈴と」です。小鳥や鈴との気付きの中で、タイトルでは一番先にいた「私」の位置が、「鈴と、小鳥と、それから私」に変わっていきます。

「大きな栗の木の下で」の歌の中に「あなたと私」という歌詞があります。これを「私とあなた」にして歌ってみましょう。どうですか、何か変な感じがしませんか？

『私とあなた』という考え方は自分中心なのかもしれない、『あなたがいて私はうれしい』と気付くと『あなたと私』になる」という話を聞いたことがあります。「みんなちがって、みんないい」の前に「私とあなた」ではなく「あなたと私」と心の中で思って、詩を読んでみてください。「あなたと私」の視点を大切にしたいものです。

—明日は人権講演会です—

『私と小鳥と鈴と』

金子みすゞ

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。

私がかたをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

人権講演会

11月10日(水)

講演いただく、にしやんた さんのプロフィール

親日国スリランカ(当時は英連邦自治領セイロン)の世界遺産 キャンディ市生まれ。

大学教授、タレント、随筆家、落語家、講演家、空手家、スリランカ人や子育て父など多くの顔をもち合わせ、その意味で「ミスター・ダイバーシティ」などと言われることも。

現在は主に、羽衣国際大学現代社会学部教授として務める傍ら、テレビ・ラジオなどで活躍。情報・報道番組のコメンテーターからバラエティ番組まで幅広く出演。出版多数、ウェブ ニュースなどの書き手でもある。

さらには、主に「ちがいを楽しみ、力に変えよう」(多様性と包摂・包含: Diversity&Inclusion)をテーマとする「ダイバーシティ・スピーカー(多様性の語り部)」として)全国各地で積極的に講演活動を行う。ボランティアで献血推進活動などに積極的に取り組んでいる。

